

2005年2月18日

プルデンシャル生命保険株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社

スマトラ沖大地震・インド洋大津波で義援金 国際赤十字社に合計 650 万円を寄付

米国最大級の総合金融サービスグループであるプルデンシャル ファイナンシャル、インク傘下の日本法人であるプルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼 COO 三森 裕）とジブラルタ生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼 CEO ティモシー・イー・ファイギー）は 18 日、スマトラ沖大地震・インド洋大津波の被災者を支援するために、社員から集めた義援金合わせて 6,513,036 円を国際赤十字社（本部 スイス・ジュネーブ）へ送金したと発表しました。

プルデンシャル生命保険の社員からの募金 1,045,371 円とジブラルタ生命保険の社員からの募金 2,211,147 円の合計 3,256,518 円に、会社からのマッチング・プログラムに基づくそれぞれ同額の寄付を加えたものです。両社とも 2 月 17 日までに国際赤十字社の被災者支援窓口へ振込み手続きを完了しました。

これとは別に、2 社の親会社である米国プルデンシャル ファイナンシャル、インクの慈善活動を行っているプルデンシャル財団（本部 ニュージャージー州ニューアーク）からも、プルデンシャル生命保険・ジブラルタ生命保険両社の社員からの募金と同額の 3,256,518 円を国際赤十字社に送金することになっています。この結果、プルデンシャル財団からの送金分を合わせると、総額は合計約 970 万円になります。

ちなみに、米国以外のプルデンシャル ファイナンシャル グループの国際部門（日本を含む）の社員から総額約 147,000 米ドル（約 1,550 万円）、そして米国内の社員からは約 709,000 米ドル（約 7,500 万円）の募金が「プルデンシャル災害救援基金」に寄せられています。これらにプルデンシャル財団から同額の寄付を合わせた金額が、国際赤十字社などの津波被災者の救済に当たっている国際援助機関に送金されます。こうした社員からの募金の他に、プルデンシャル ファイナンシャル、インクは、津波被災者の救援のために 100 万ドル（約 1 億 400 万円）の寄付を行うことを 1 月に決定しています。

< 添付資料 >

プルデンシャル財団は 1977 年に創設されたプルデンシャル ファイナンシャル、インクの非営利団体で、プルデンシャルのコミュニティ・リソース部門の一つです。現在、子供と家族の自活を促す財団、地域の活性化を図るプロジェクトを運営するソーシャル・インベストメント、プルデンシャルの社員がある特定の地域の要望に取り組むボランティアを取りまとめるローカル・イニシアティブの 3 つから成り立っています。

プルデンシャル ファイナンシャル (総運用資産 : 5,000 億ドル、2004 年 12 月 31 日現在) は、世界各国で個人および法人の皆様にも総合金融サービスを提供しています。米国最大手の生命保険会社の一つであるプルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカは、プルデンシャル ファイナンシャルの一員です。プルデンシャル ファイナンシャル・グループは、生命保険、投資信託、年金、退職年金と退職関連業務、資産運用、証券業務、銀行・信託業務、不動産仲介、リロケーションサービス等、多様な商品・サービスを提供しています。詳細は www.prudential.com にアクセスしてください。